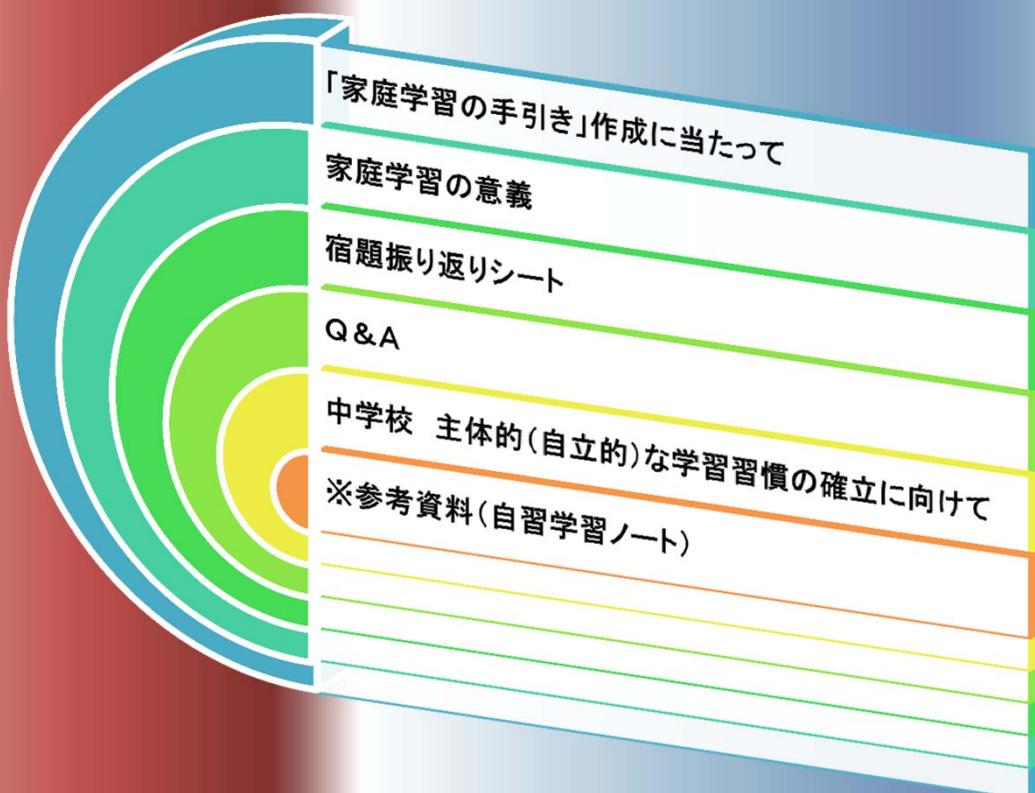


平成26年1月発行

教員用

家庭学習の手引き



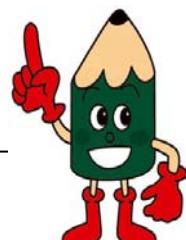
23年度に作成した「魚津っ子 家庭学習のすすめ」を、より具体的に示し、実際のノート等の具体例も掲載しました。

家庭学習の取組方について、市内の先生方の実践から編集したものです。お役立てください。

魚 津 市 教 育 委 員 会
魚 津 っ 子 の 学 び 向 上 委 員 会
魚 津 市 小 中 教 務 主 任 会

目 次

1 「家庭学習の手引き」作成に当たって	・ · · P 1
2 家庭学習の意義	・ · · P 2
3 宿題振り返りシート	・ · · P 4
4 家庭学習Q & A	
Q 1 学年や個に応じた家庭学習は、どれくらいの 時間や量が適当なのですか？	・ · · P 5
Q 2 自習学習には、どのような内容のものがある のでしょうか？	・ · · P 6
Q 3 児童が楽しく取り組んだり、家族と対話しながら 取り組んだりできる宿題には、どのようなもの があるのでしょうか？	・ · · P 7
Q 4 効率的に点検するには、どのような工夫を すればよいのでしょうか？	・ · · P 9
Q 5 一人一人の成長や努力を認める評価は、どの ように行えばよいのでしょうか？	・ · · P 10
Q 6 保護者の協力を得るために、家庭にはどの ような働きかけをしたらよいのでしょうか？	・ · · P 12
5 中学校 主体的（自立的）な学習習慣の確立に向けて	· P 14
6 参考資料 自習学習ノート例	· · · P 16



「家庭学習の手引き」作成に当たって

魚津市的小中学校では、県が策定している「とやま型学力向上プログラム」を踏まえ「児童一人一人の学びを向上させ、確かな学力の定着を目指す」ことを目標として、教育委員会や拠点校を中心に授業公開、研修会における交流・教員の相互派遣等の取組を行い、授業力向上へ向けた取組の普及を図ってきました。



一方、全国学力・学習状況調査の結果において、魚津市は「家庭学習の時間が少ない」ことが一つの課題であり、家庭学習をより充実させることも学力向上に不可欠と捉えました。

そこで、「魚津っ子の学び向上委員会」を組織し、23年度は「魚津っ子 家庭学習のすすめ」を作成し、全家庭に配布して家庭における学習習慣の確立に努めました。先生方も内容等を参考にされながら、家庭への声掛けを行い学校と家庭での学習の両輪で、学力の定着を図っておられることと思います。

さて25年度は、「魚津っ子 家庭学習のすすめ」の一層の活用を願い、実際に日々の授業に携わる教員向けとして、指導の拠り所となる日常の指導に生きる教師用実践事例集「家庭学習の手引き」を作成しました。

作成指針は以下の3点です。

作 成 方 針

- 1 宿題や家庭学習の具体例を示す。
 - ・宿題を出す際の配慮すべき点の明示
 - ・「基礎・基本」の定着、「発展的」な学習、「授業に生かす」宿題例の明示
 - ・自主学習のノート例と指導する際のポイントの明示
- 2 教員の悩みに対して解決策を示す。
 - ・Q & A形式で具体的方策の明示
- 3 小中学校の連携した学びを示す。
 - ・小中9年間が連続した学びになるために、小中学校で身に付けさせたい学習習慣や家庭への働きかけの具体例の明示

以上の指針に基づき、作成委員が市内小学校の実践を集め、実践経験に裏付けられた確かな知恵と工夫を出し合って作成しました。

そこには、魚津市の教員に少しでも参考にしていただくとともに、取組を通してさらに進化したアイディアを生み出し、児童がますます意欲的に宿題や家庭学習に取り組み、学力向上に寄与する願いが含まれています。

ぜひとも、熟読の上、さらには日頃の実践と重ね合わせながらご活用いただきたいと思います。

家庭学習の意義

なぜ、家庭学習が必要なのでしょうか。それは、家庭学習には次のようないくつもの教育的効果があるからです。特に、1「授業の復習」と2「家庭学習の習慣付け」の項目を意識することが大切です。以下の効果を児童生徒にも伝え、家庭学習を充実させて確かな学力の定着を目指しましょう。

- 1 授業の復習……


学校で学習したことを家庭で復習することにより、習熟・定着を図ることができます。特に漢字や計算等は、毎日繰り返し練習することで定着していきます。学校で「分かった」ことが、反復練習によって「できる」という自信に変わります。
- 2 家庭学習の……
習慣付け


毎日家庭学習を続けることにより、自ら進んで学ぶ習慣が身に付きます。毎日続けることで、やがて、当たり前の習慣になります。少しづつでも継続することが大きな力につながります。低学年のうちから毎日欠かさず家庭学習をすることが大切です。
- 3 脳の活性化……

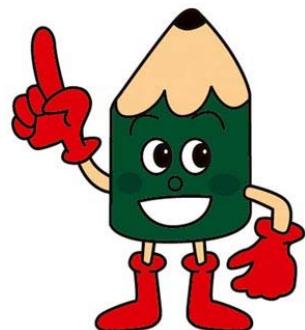

読み・書き・計算を毎日繰り返すことは、脳の活性化につながると言われています。脳も手足の筋肉と同じように、毎日繰り返し使うことで活発に働くようになるのです。鍛えれば鍛えるほど発達し、たくましくなって、脳がいろいろなことに対応できるようになります。
- 4 がまん強さ……
根気、集中力


家庭学習の最大の敵はテレビやゲーム等の誘惑です。この誘惑に打ち勝つことにより、がまん強さ、根気、集中力を養うことができます。テレビやゲームの時間を決めて、学習や読書等の時間をしっかりと確保したいものです。そのためには、テレビを消す、みんなで読書をするといった家族全員の協力が必要なのは言うまでもありません。
- 5 家族との触れ合い…「本を読んでいるとき、横で聞いてもらう」、「勉強が分からない時、教えたり調べたりしてもらう」等、家庭学習をしているとき、家族の方と関わることによりコミュニケーションを図ることができます。家族との触れ合いの機会が増えることは、精神の安定につながり、心身も頭脳も健やかに育ちます。


授業と家庭学習のサイクル化

家庭学習が次の授業にどのようにつながるのかを、子ども自身が理解しておくことは大切です。そのことにより家庭学習をする必然性が生まれ、子どもの家庭での学びが主体的になり、質・量ともに高まっていきます。

そこで、次のように発達の段階に応じた家庭学習の目当て、内容、授業との関連を意識して課題を出すことが必要となります。



発達の段階	目当て	家庭学習の内容例	授業例
低学年	習慣化する。	<u>与えられた課題中心</u> 読み・書き・計算の基本的な学習を行う。 (音読・漢字・ドリル・日記・視写・読書 等)	・練習してきたことをテストする。
中学年	自分の学び方を身に付ける。	<u>自主学習の導入</u> 与えられた課題に加え、簡単な予習や復習を行う。 (意味調べ・ローマ字練習・問題づくり 等)	・調べてきたことを発表させる。 ・作った問題をみんなで解く。
高学年 ～ 中学生	計画的・主体的に学ぶ。	<u>自主学習の主体的な取組</u> 自主学習(復習・予習)を増やす。 (今日の授業のまとめ・次時の学習内容・テスト勉強・発展的な学習 等)	・自主学習を基に自分の考えをまとめたり、振り返ったりする場を設ける。

宿題振り返りシート

「家庭学習の習慣化」は、学力の定着だけでなく、「頑張って宿題に取り組んでいる」という「自尊感情」(※)の高まりにもつながるということを、本人だけでなく保護者にも理解してもらうことが大切です。また、「なぜ宿題をしなければならないのか」を知らせるとともに「児童生徒が興味をもって取り組める内容や出し方」を工夫する必要があります。日頃の宿題についてチェックし、改善をしましょう。

(は、市内教員アンケートで、あまり実践されていない項目)

観 点	項 目
	<input type="checkbox"/> 宿題の意義を児童生徒に伝えて出していますか。 P 2
出 し 方	<input type="checkbox"/> 保護者の意見にも耳を傾け、宿題の出し方を改善していますか。 <input type="checkbox"/> 宿題のやり方を十分に説明して、宿題を出していますか。 ・何を、どこまで、どの程度まで <input type="checkbox"/> 学年に応じた宿題（課題＋自主学習）の量を考えて、出していますか。 P 5課題 P 6自学 <input type="checkbox"/> 児童生徒が授業内容を理解しているかを確認して、宿題を出していますか。 <input type="checkbox"/> 学年間、教科担任との連携はとれていますか。 <input type="checkbox"/> 時には、特定の学習内容定着のために、期間を設けて集中的に宿題を出していますか。（かけ算九九、漢字練習等）
内容の工夫	<input type="checkbox"/> 児童生徒が自分でできるものですか。 <input type="checkbox"/> 時には、個に応じた宿題を出していますか。 <input type="checkbox"/> 時には、児童生徒が楽しく取り組めるような宿題を出していますか。 P 7 <input type="checkbox"/> 時には家族で対話できるような、宿題を出していますか。
評価・点検のポイント	<input type="checkbox"/> 点検を確実に行い、やってこなかった場合は、その日のうちに提出させていますか。 P 9 <input type="checkbox"/> 一人一人の成長や、努力を認める評価をしていますか。 P 10 <input type="checkbox"/> 宿題の内容に応じて評価し、児童生徒に伝える工夫をしていますか。 <input type="checkbox"/> 保護者に、児童生徒の成長や努力が伝わるような、工夫をしていますか。 <input type="checkbox"/> 評価・点検の仕方を教師間で、情報交換していますか。
家庭との連携	<input type="checkbox"/> 宿題の意図について、学年だよりや学年・学級懇談会、家庭訪問等で保護者に説明していますか。 P 12

※自尊感情・・・自分には価値があり尊敬されるべき人間であると思える感情のこと。これが高い人は、困難に出会っても粘り強く努力したり、意欲をもって新しいことに挑戦したりすることができる。

家庭学習Q & A

Q 1. 学年や個に応じた家庭学習は、どれくらいの時間や量が適当なのでしょうか？

A. 魚津市では、「魚津っ子 家庭学習のすすめ」（小学校）で、学習時間の目安を次のように示しています。

1・2年生···20分 3・4年生···40分 5・6年生···60分

平成22年度に行われた魚津市の家庭学習についての調査（6年生）において以下の結果が出ています。

- ・魚津市の児童の平日の家庭学習の時間は、「全くしない」や「1時間未満」の割合が全国や富山県に比べてやや多い。
- ・家庭学習の時間の平均は、平日・土・日曜日ともに一人当たり52分で、魚津市が目安としている「高学年60分」に満たない児童が、平日は64%、土・日曜日が58%となっている。

以上のことから、次の2点を意識しながら、家庭学習の習慣化を図る必要があります。

- ① 「全くしない」「1時間未満」の児童生徒を少なくする。
- ② 日曜日の家庭学習の時間を確保する。

【家庭学習の内容】

その日の学習の定着（基礎・基本）とドリルによるスキルアップを中心とする課題、苦手な学習内容の理解を進めるための課題、学習したことをさらに深く追究する課題等があります。また、児童生徒が自分の興味があるものを追究していく自主学習もあります。

以下の3つにまとめられます。

- ・既習事項の定着を図る家庭学習
- ・興味・関心を高める家庭学習
- ・個の伸長を図る家庭学習

「児童生徒にどのような力を付けたいのか」という家庭学習や課題の目的を教師自身が明確にもつことが大切です。



【家庭学習の量】

共通の課題に加えて、自主学習（P 6）を奨励し、個人差への対応を工夫して、目安の学習時間を達成できるようにしている教員もいます。

【留意事項】

- ・年度当初、家庭学習の習慣化を図るために学習の進め方を説明し、パターン化して児童生徒が取り組みやすいように心掛ける。例えば漢字学習や計算の練習の仕方、ノートの書き方等を説明し、自分で学習を進められるようにする。
- ・複数学級のある学年では、担任間で家庭学習の内容や量の情報交換を行い、学級間での差が生まれないようにする。
- ・進級時、前学年での家庭学習のやり方と大きく内容・量が変わると児童生徒に戸惑いが生じるので、学校としての家庭学習の出し方について、ある程度の共通理解をしておく。

Q 2. 自主学習には、どのような内容のものがあるのでしょうか？

A. 「自主学習」は、児童生徒が興味・関心のあることを調べる、読む、まとめる、自分の苦手な学習を繰り返し練習する、授業で学習した内容をさらに深く追究する等、自主的に学習を進める、家庭での学習習慣を身に付けさせることができます。

しかし、児童生徒の自主性に任せているだけでは何を学習したらよいのか、どのように学習したらよいのか迷うことが多いと思います。

そこで、各学年または一人一人に、ある程度自主学習の方法や内容を教師から提示する働きかけも必要になってきます。



【まずははじめに】

- ① 専用ノートを準備する。(初めは担任が一括購入するとよい)
ノートに名前やページを書いて、取り組んだ量が可視化できるようにしましょう。
- ② 取り組む内容を明確にする。
内容を一覧表にするなど一目で分かるようにしましょう。
- ③ 1回に取り組む量(ページ数)を決めておく。
基本は、見開き2ページです。(徐々にできるように励ましていきましょう。)
- ④ 最後に必ず感想を書かせる。
「振り返り」を書くことで、自己教育力を育んでいきます。短くとも構いません。
- ⑤ 必ずノートチェックで評価を行う。
一言「〇〇なところがいい」と赤ペンを入れるとやる気につながります。

【自主学習の内容例】

漢字ドリルや計算ドリルを使って繰り返し練習をしたり、学校で学習した問題をノートに書いて再度自主学習として行ったりするなど、基礎的・基本的な力を身に付ける「バッヂリメニュー」と自分の興味・関心に基づいた「ワクワクメニュー」を紹介します。

バッヂリメニュー

- ・ひらがな練習 　・漢字練習 　・計算練習 　・ローマ字練習 　・音読 　・視写
・読書 　・都道府県名や世界の国名 　・笛や鍵盤ハーモニカの練習等



ワクワクメニュー

- (低学年) · 絵であらわす九九 　· あつたらいいなこんなもの 　· 言葉集め 　· 交通標識
· はり絵 　· お手伝い日記 　· 音楽の記号や言葉 　· キャラクターづくり
· 色の不思議 　· たし算やひき算、かけ算のお話づくり 　· 花や野菜、虫や生き物の観察日記等
- (中学年) · 都道府県庁所在地調べ 　· 三角定規やコンパス、分度器を使っての絵 　· 地図記号
· 体のつくり調べ 　· 磁石にくっつく物調べ 　· 家のごみの量や種類調べ
· 星座の動きの観察 　· 月や太陽 　· ことわざの意味調べ 　· 昔の暮らし
· 世界の国ランキング 　· 点字探し等
- (高学年) · 新聞スクラップ 　· 各県の特産物調べ 　· 川や海等で拾ってきた石の大きさや形調べ
· 天気予報の雲画像や雨情報、台風の動き調べ 　· 歴史上の人物調べ 　· 食物連鎖って?
· 身近にあるてこの原理 　· 星座や月の満ち欠け観察 　· 〇〇〇用語
· ものの始まり辞典 　· おすすめ食事メニュー 　· 職業調べ 　· 音符調べ等

Q 3. 児童が楽しく取り組んだり、家族と対話しながら取り組んだりできる宿題には、どのようなものがあるでしょうか？

A. 毎日の宿題には、スキル的なもの、繰り返し練習するもの等、基礎・基本を身に付けることを中心にしたものが多くなります。しかし、ときには、児童が楽しめるようなクイズやゲーム的なもの、家族と対話しながらできるものを取り入れると意欲的に宿題に取り組みます。

1 楽しみながら取り組むことができる宿題

低学年	国語	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字練習・・自分の苦手な漢字ベスト5 ・ことば集め（野菜、動物、花等） ・楽しい詩や読み物の暗唱 ・好きな単元の音読 	
	算数	<ul style="list-style-type: none"> ・図形づくり、図形を使ったパズル ・bingoやしりとり等、クイズを取り入れたもの ・答えの場所の色ぬり ・キャラクターやイラストの入ったもの 	
	生活	<ul style="list-style-type: none"> ・家の手伝い 	
	音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・鍵盤ハーモニカの練習 	
	特活	<ul style="list-style-type: none"> ・劇のせりふや演技の練習 	
中学年	国語	<ul style="list-style-type: none"> ・ローマ字でしりとり、なぞなぞ ・好きな〇〇ベスト5とその理由 ・四コマ漫画日記 ・なりきり作文 ・家族の自慢作文 ・国語辞典を使って言葉調べ、漢字辞典を使って漢字調べ ・新聞を使って既習の漢字さがし 	
	社会	<ul style="list-style-type: none"> ・家の周りの地図づくり ・同じ形を敷き詰めた模様づくり ・コンパスや分度器を使って作図の練習 ・家の中の磁石や電気を通すもの調べ 	
	算数		
	理科		
高学年	国語	<ul style="list-style-type: none"> ・俳句づくり ・同じ部首の漢字集め、同じ画数の漢字集め ・反対言葉集め ・四字熟語、ことわざ調べ ・古典の暗唱（源氏物語、枕草子、百人一首、平家物語 等） 	
	社会	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞記事の紹介 ・ちらしを使って食べ物の生産地調べ ・新聞を使って国名調べ ・歴史事象や歴史人物の新聞づくり 	

	算数	<ul style="list-style-type: none"> ・外国と日本の違い調べ ・身の回りの割合を表すもの集め ・コンパスや定規をつかって模様づくり ・答えが同じになる問題づくり
	理科	<ul style="list-style-type: none"> ・ムラサキキャベツを指示薬にした身の回りの水溶液の性質調べ ・てこを使った道具さがし ・天気の変化の観察
	家庭科	<ul style="list-style-type: none"> ・調理（おかずづくり）
	特活	<ul style="list-style-type: none"> ・行事や校外学習のことを話題にした家族との会話



2 家族と対話しながら取り組める宿題

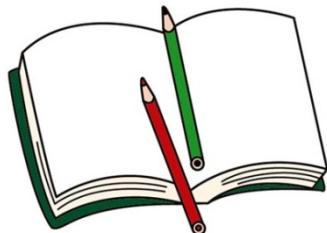
低 学 年	国語	<ul style="list-style-type: none"> ・学校での出来事（学習お知らせカード）についてのコメント ・親子読書（全学年）、日記の話題を相談 ・ことば集め、あいうえおの言葉を使った詩、家族をテーマに俳句づくり等 ・保護者による漢字プリントのチェックと確認 ・音読（家族のコメント欄） ・鉛筆対談 ・九九練習 ・家族と一緒に家の中のものの長さ調べ（cm、mm）、水のかさ調べ（dL、L）形調べ ・計算カードの時間計測
	算数	<ul style="list-style-type: none"> ・九九練習 ・家族と一緒に家の中のものの長さ調べ（cm、mm）、水のかさ調べ（dL、L）形調べ ・計算カードの時間計測
	生活	<ul style="list-style-type: none"> ・生活科のお手伝いと、家の方からのメッセージカード ・学校で育てたい野菜決め、育て方のアドバイス ・家族の仕事調べ、小さいころの自分についてインタビュー ・一緒に楽しむ昔の遊び（紙鉄砲、あやとり等）
中 学 年	国語	<ul style="list-style-type: none"> ・音読（家族のコメント欄）
	社会	<ul style="list-style-type: none"> ・昔の生活インタビュー、地域探検、ごみ調べ、買い物調べ
	理科	<ul style="list-style-type: none"> ・星座の観察
	音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・リコーダー練習（家族のコメント）
	総合	<ul style="list-style-type: none"> ・環境（温暖化防止）の取組を相談、協力して実践、地域探検
高 学 年	国語	<ul style="list-style-type: none"> ・音読練習（古文）
	社会	<ul style="list-style-type: none"> ・社会科の新聞づくりのためのインタビュー
	理科	<ul style="list-style-type: none"> ・月の観察
	家庭科	<ul style="list-style-type: none"> ・天気に関する言い伝え調べ、家族へのインタビュー ・環境問題や新エネルギー開発、活用についてのニュース集め ・朝ご飯メニューに挑戦、クリーン作戦（清掃）等の実践 ・献立の立て方、味噌汁の作り方、買い物等の工夫（インタビュー、一緒に実践）
	外国語	<ul style="list-style-type: none"> ・既習の外国語活動の会話
	総合	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育として仕事に対する思いをインタビュー



Q 4. 効率的に点検するには、どのような工夫をすればよいのでしょうか？

A. 点検について

何と言っても、その日の内、できれば朝、少なくとも午前中には、「家庭学習をやってきたか、やって来なかつたか」を把握したいものです。



教師が自ら行ってもよいのですが、係の児童生徒の仕事として名列表にチェックさせてもよいでしょう。黒板等に確認票を張り出す方法もありますが、場合によっては、児童生徒の自尊心を傷つけ、逆効果になることもありますので注意しましょう。

頑張って家庭で取り組んだ学習について、教師や友達からよい評価をもらうことは、次の意欲につながります。できるだけ早めに目を通し、他の児童生徒の参考になるものは紹介するのが望ましいでしょう。とは言っても、一日の仕事の中で家庭学習のチェックに充てられる時間は限られています。ですから、内容によって軽重をつけるのはやむを得ません。

(P10、11参照)



また、自主学習ノートについては、2冊持たせて1日にクラスの半数ずつのノートを点検する方法もあります。その他、宿題の内容について「確認テスト」をして評価する方法もあります。

A. 家庭学習の習慣が身に付いていない児童生徒について

そのような児童生徒がいたら、「やっても、やらなくても同じ」と思って欲しくないものです。期限を示して根気強く、必ずやらせたいものです。



- ・その日の休み時間、大休憩、昼休み、放課後 等…または翌日まで等
- ・能力的に配慮が必要な児童生徒には、取り組む範囲や量（10分か20分程度でできるもの）を決め、できたときの達成感を味わわせることもよいでしょう。
- ・前もって学校でやり方を説明する。
- ・復習型の内容にする。

個人に対する指導だけでなく、教室全体で提出率等を上げる取組をし、みんなで達成感を味わうことができるような手立てをするのもよいと思われます。



Q 5. 一人一人の成長や努力を認める評価は、どのように行えばよいのでしょうか？

A. 評価には、次のようなねらいがあります。

- ア 児童生徒の学習への動機付けや方向付けを行う。
- イ 教師の自己反省とその後の指導方針の見直し、指導改善に生かす。
- ウ 児童生徒をほめる材料として、児童生徒の向上につなげる。
- エ 指導目標に基づいて多面的に行い、適切に活用する。



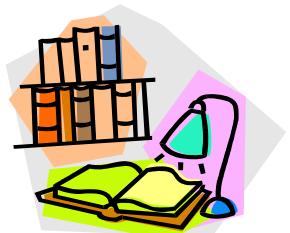
家庭学習の取組や内容を教師から認められることで、児童生徒は、励まされ、喜びを感じます。また、具体的なアドバイスをもらうことで、より効果的な学習の仕方を身に付けていくことができます。そして、そのことが、自主的に学習を進める意欲や力につながっていきます。

しかし、教師が家庭学習の評価に充てることのできる時間は、限られています。短い時間の中で、児童生徒の成長や努力を伝えるためには工夫が必要です。では、どのように評価をするとよいのでしょうか。

1 評価すること

① 課題への取組

学習内容の理解が不十分な児童生徒や家庭学習の習慣が身に付いていない児童生徒にとっては、家庭学習の課題を仕上げることは、とても高いハードルです。途中まであっても、内容が不十分であっても、まずは、「取り組もうとしたこと」や「取り組んだこと」を認めましょう。できなかった分をどうするのかについて、教師に教えてもらう、解答を見ながら取り組んでみる等、いくつか方法を提案し、児童生徒が自分で決めて取り組むようにすると



よいです。解決への見通しをもつことができれば、児童生徒は自分で動き出します。

個に応じた課題の工夫や、普段から「できることを精一杯やればいいんだよ」というメッセージを伝えておくことも大切です。

- ・半分できたね
- ・がんばったね
- ・あと一息だね
- ・先生と一緒に仕上げようね



② 取組の内容

教師からの課題なのか自主学習なのか、また、課題の内容にもよりますが、一人一人の取組の内容を評価しましょう。例えば、算数の課題の場合、次のような評価の観点が考えられます。

- ・課題を仕上げてある
- ・まる付けをしてある
- ・直しを丁寧にしてある
- ・類題に取り組んでいる



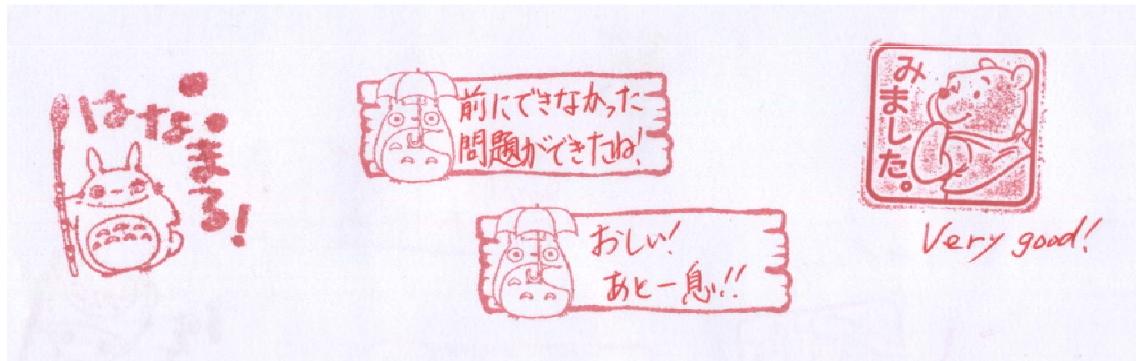
2 評価を伝える方法

児童生徒の意欲を呼び起こし、次の学習に生かすためには、その日のうちか遅くとも次の日には、評価して返したいものです。一人一人に丁寧にコメントを返すとよいのですが、限られた時間の中では難しいことです。スタンプやシール等も活用しながら、教師からの温かい励ましやアドバイスを伝える工夫をしていきましょう。



【例】

- ① 記号によるメッセージ … まる付け（花まる、三重まる、二重まる等）
シール、スタンプ、A、B等の記号
- ② 言葉によるメッセージ … 朱書き、声かけ
- ③ 記号+言葉 … スタンプやシールの横に「g o o d！」「がんばったね」「～がいいね」等のコメント
- ④ 周知 … 展示、全体への紹介



3 評価の際の注意点

児童生徒の意欲につながる評価にするためには、いくつかの注意が必要です。

- ・「A（よくできた）、B（だいたいできた）、C（がんばろう）」等の記号の場合、なぜそのような評価なのか、観点が誰から見てもよく分かるようにしましょう。展示したり全体に紹介する際も、同様です。よさが伝わるようにコメントを付けましょう。
- ・「C」等の場合、返しっぱなしにしないで、個別に呼んで具体的なアドバイスをして直しをさせ、その日のうちに「B」や「A」に書きかえて返しましょう。
- ・コメントは、「私メッセージ」で書きましょう。「こうあるべき」「ここがダメ」というメッセージは、意欲を減退させます。「～がいいね。～すると、もっとよくなると思うよ」などの私メッセージは、子どもの意欲を引き出します。
- ・「前に比べて、～がよくなつたよ」のような、個人内評価を心がけましょう。

Q 6. 保護者の協力を得るために、家庭にはどのような働きかけをしたらよいのでしょうか？

A. 学力向上を図るには「家庭学習の習慣化」や「基本的な生活習慣の確立」等家庭の過ごし方が大切になります。様々な機会を通して、学校の方針を伝え協力を依頼したり、児童生徒のがんばりを伝えたりすることで、保護者の家庭学習に対する意識が高まります。

保護者の学校に対する関心や意識を高め、信頼が得られるよう、連携の在り方を工夫しよう。

- ①「保護者会」「年度当初の学年・学級だより」「学校だより」で指導方針や依頼事項を伝える。
- ②「連絡帳」「学年・学級だより」「学校だより」「ホームページ」で日頃の様子を伝える。
- ③学習参観に自主学習ノート等のノート展をする。等

あらゆる機会をとらえて、根気よく保護者に協力を求めていくことが大切です。子ども自身が保護者にがんばりを伝えることも効果的です。

【保護者会、学年だより等についての例】

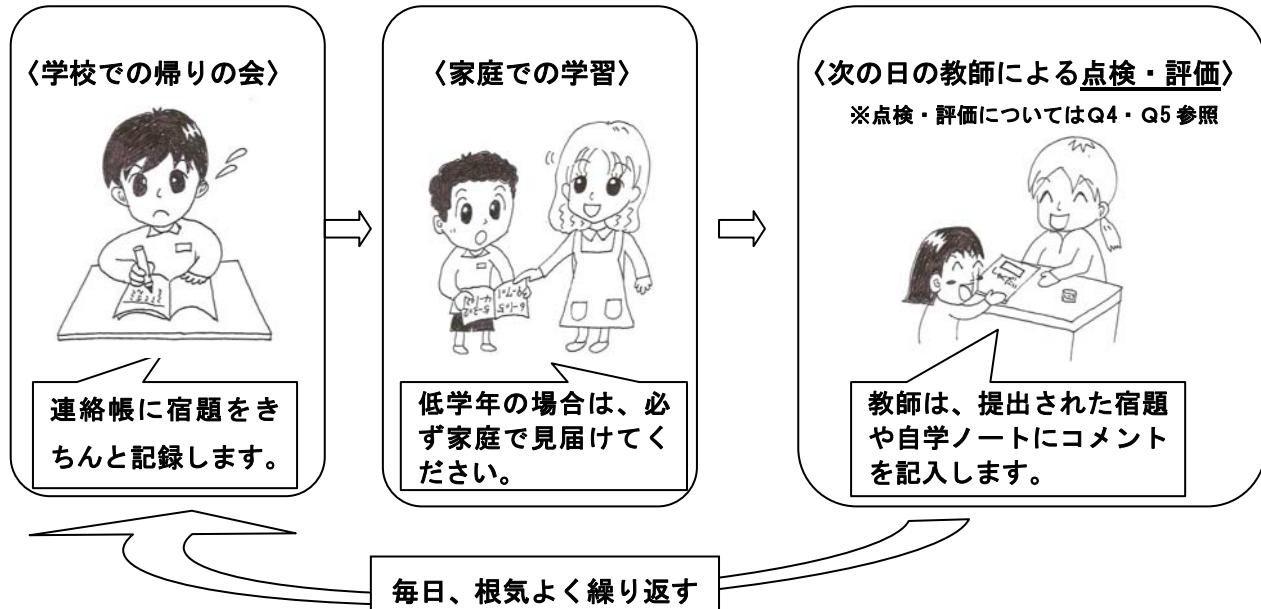
1 年度当初に、意義・目的（「家庭学習の意義や目的」P 2 参照）とともに、どのような家庭学習をどの程度行えばよいか伝える。

例えば、低学年においては、教師が家庭で行う学習の課題を与え、中学年、高学年と進むにしたがって、自己の能力や興味・関心に応じて自分で学習する課題を設定するようにする。時間は、最低限度の目安として、学校で共通している場合はそれを目安として示す。

※魚津市の家庭学習リーフレットを参考にするとよい。

学 年	音 読	→	宿 題	→	自 学 ノ ト	時 間
低学年	国語の教科書を中心 ^に 、5~10分程度、声に出して読む。		教師が出した宿題をする。		教師が出した問題をする。	20 分程度
中学年					メニュー等を参考にする。	40 分程度
高学年					自分で課題を設定してする。	60 分程度

2 家庭学習を習慣化させるため、下記のような流れにしていることを伝える。



【学年だより、学校だより等に掲載するおたより例】

家庭学習について

1学期から、懇談会等いろいろな機会に宿題についてのご意見をいただいています。2年生よりも増えた宿題について「多いのではないか」というご意見や「これくらいは出してほしい」というご意見がありました。

そこでまず、なぜ宿題を出すのかということについてお話をします。

宿題を出す意味は、第一に「望ましい学習習慣を身に付けてほしい」ということです。ですから、ただこなすだけではなく「遊びに行く前に」「学年×10分以上」「ていねいに」ということを繰り返しお伝えしているわけです。

第二に、学校で学習するだけでは身に付きにくい繰り返し学習（漢字・計算等）を行うことで「基礎的な学力を定着させてほしい」ということです。新しく習う漢字や計算をさっと身に付けてしまう子もいれば、時間をかけて身に付けていく子もいます。ただ、今はさっと身に付く子も、将来、時間をかけて取り組まなければならない不得手な課題に遭うこともあるでしょう。その時に根気よく取り組むことができる粘り強さ、集中力も「基礎的な学力」として捉えています。そのためにはこれだけは繰り返してほしいという課題を出しています。

一方、子どもたちには家庭に帰ればそれぞれの「家庭での生活」（友達や家族との遊び、習い事、お手伝い、団欒の時間等）があると思います。その家庭での生活が極度に侵害されるような量の宿題は適切ではないと考えています。ですが、速い子は30分くらいで済ませてしまう宿題を2時間以上かけて行っている子がいるということも耳にします。学校でやればそこまでの差は出ませんから、おそらくいろいろな誘惑に負けない集中力の差が表れているのではないかと思われますが、量の調整には苦慮しているところです。

そこで、このような個人差に配慮するという意味で「自主学習ノート」を宿題として出すことにしました。従来の宿題を少し少な目にして、その分を自主学習が埋める形にしたいと思います。学校でも「6時間目まであるか」「次の日が休みか」などの実情に応じて宿題の量を調節したいと思いますが、ご家庭でも学校から出た宿題が少ないと思われる場合は、親子の約束で時間や内容を決めて自主学習を行っていただければと思います。

自主学習は、その子の学ぶ力を伸ばしたり苦手を克服したり得意を伸ばしたりするのに役立つと考えています。ご協力よろしくお願ひします。

（「小学校3年 10月号の学年だより」より）

がんばっています！！自主学習

6月から計画を立てて自主学習に取り組んでいます。4月の学級懇談会で「宿題だけで40分かかるのでなかなか自主学習の時間がとれない」「じっくり考える時間がないのでいつも同じ内容になったり、簡単なことや好きなことだけをやったりしている」というご意見をいただきました。宿題で出すこともできますが、一人一人時間の余裕のある日はちがいます。そこで、自主学習に取り組む日を選ぶことにしました。また、内容については「バッヂリメニュー」（学校の学習と直接結び付くもの）と「ワクワクメニュー」（自分の興味あることを楽しみながら学習する）を二つ作り、その中から選ぶことにしました。また、お互いのノートを見合う機会を設け、ノートのまとめ方のこつなどもつかんでいけるようにしたいと考えています。



バッヂリメニュー	ワクワクメニュー
・漢字 (書き順、へんやつくり、じゅく語、文づくりなど)	・日記
・教科書の分からない言葉の意味調べ	・おすすめの本
・ローマ字	・読書(読んだ本の名前、感想も)
・算数ドリル(丸つけも)	・図かん調べ
・授業でやった算数のポイントかい説	・好きなもののしうかい
・算数の問題づくり(式と答えも)	・家族のしうかい
・社会・理科のふく習	・ことわざ調べ
	・はいくづくり(五・七・五)など

（「小学校4年 6月号の学年だより」より）

中学校 主体的(自立的)な学習習慣の確立に向けて

魚津市中学校の家庭学習の傾向

1 平成25年度全国学力調査の結果より

- 家庭学習の時間は、全国や富山県の結果に比べてかなり少ない。家庭での学習時間（塾や家庭教師を含む）を1時間以上行っている生徒の割合は次の通りです。
魚津市 52.5% 富山県 61.5% 全国 68.7%
- 1、2、3年と学年が上がるにつれて家庭学習時間が少なくなっています（1学期調査より）。2年生は2学期から家庭学習時間が少なくなりますが、3年生は多くなる傾向にあります。（25年度 家庭学習調査より）
- 定期考查前の部活動停止期間中の学習時間は、普段の2倍程度となっています。

2 これまでの生徒観察の実態より

- 生活習慣がきちんと確立されている生徒は、学力が高い傾向にあります。しかし、その反対に、生活習慣が確立されていない場合、学力は低い傾向にあることが分かります。
- 宿題はしてくるが、自主的に学習を行う生徒が少ない傾向にあります。
- 学習が分からなくなったときに、自分の力で解決していくとする気持ちをもっている生徒が少ないとと思われます。

家庭での生活リズムを身に付ける

※ 全国学習状況調査より、生徒の生活規律は、全国や県の結果と比較してもよい傾向にあり、生徒のまじめな部分を引き上げていくことが大切です。その対策として生活ノート（家庭での時間の使い方やその日の感想等）を生徒が毎日記入し、翌日、担任が回収し、点検を行うことで生活リズムの実態を把握し、助言していくことが大切になります。

生活ノートより 例												※学習は赤、食事、風呂、自由、就寝時刻記入			
午前				午後								※学習は赤、食事、風呂、自由、就寝時刻記入			
5	6	7	8		3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1
起床	登校			学校				帰宅	夕食	自由	自由	風呂	自由	就寝	
感想															
学習時間 1 時間 30分															
今日は、数学の復習をしたが、難しかった。何とか宿題を終わらせることができた。															
英語の予習ができなかった。明日の授業が心配だ。何とかしよう。															
最近よく頑張っていますね。英語は新出単語だけは意味を調べて予習しておくようにしましょう。															

家庭学習の計画を立て、実践する力を身に付ける

※ 全国学習状況調査から、自分で計画を立て勉強する生徒は、学力が高い傾向にあります。また、予習をする生徒も、学力が高い傾向にあることが分かっています。

※ 計画を立て、見通しをもって家庭学習を行うことや予習や復習を継続的に行うことが大切です。

強化週間を設ける。
課題は終学活で確認し、家庭学習の内容と時間について自分で計画を立てる。

月日	曜	課題の内容と学習計画							予定時間	実施時間
		国語	社会	数学	理科	英語	技能教科			
11月12日	月	課題: プリント1枚 ・プリントに30分	課題: プリント1枚 ・プリントに30分	課題:	課題: ワークP15~16 ・ワークに30分	課題:	課題:		120分	90分
11月13日	火	課題: 漢字学習P24 ・漢字に30分	課題:	課題: ワークP25~26 ・ワークに30分 ・復習に30分	課題:	課題:	課題: 美バネル作成 ・ワークに20分 ・予習に30分		140分	150分
11月14日	水	課題:	課題: 白地図P23 ・白地図に30分	課題: プリント1枚 ・プリントに30分 ・問題集に30分	課題:	課題:	課題:		90分	120分

主体的に学習に取り組む力を身に付ける

実践例 1 自主勉ノート(数学)

(1) 目的及び、実践方法について

復習として、ワークやドリルの問題の計算練習や学習内容のまとめを自習勉ノートで行っています。繰り返し計算練習を行ったり、まとめをしたりすることで、学習内容の定着を図っています。定期考查や長期休業中の課題等としても活用しており、自主勉ノートの学習が主体的な学習態度へつながり、家庭学習の習慣化が図られていると考えています。

(2) 成果

基礎的・基本的な学習内容の定着が図られ、取り組んだだけ効果が現れるので、生徒の学習に対する意欲化につながっています。授業中でも、時間があれば、自主勉ノートで練習問題を解いている生徒もあり、主体的な学習態度の育成につながり、家庭での学習習慣の確立につながっています。

実践例 2 自己評価プリントを活用した振り返り学習(数学)

(1) 目的及び、実践方法について

学習の成果を確認するとともに、学習内容の定着を目指し、自己評価プリントを活用した振り返りを行っています。

自己評価プリントの表面では、授業の終末時に自己評価（忘れ物、授業態度、学習内容の理解度等）を行っています。裏面では、家庭学習として今日の授業ノートを振り返りながら自分なりにまとめたり、練習問題に再度取り組んだりしています。

(2) 成果

毎時間の自己評価を通して、忘れ物をしないような意識付けになり、発表にも意欲的に取り組む姿が見られます。感想には、「〇は基準にもなることが分かった。」「交換法則や結合法則を使って、計算を簡単にすることことができたので、すごく便利だと思った。」「今日は、累乗や指数、平方、立方など新しい言葉をたくさん勉強したので、しっかり覚えたい。でも、小学校の面積や体積の単位と同じだと気付いたので、簡単に思えた。」など、数学の用語を使用しながら記述しているものもあり、学習内容の定着に結び付けることができます。また、復習として授業ノートを再度見直すことで理解が不十分であったところを補うことができます。

実践例 3 家庭でのプリント学習による学習内容の定着(国語、英語)

(1) 目的及び、実践方法について

授業後や週末課題として、漢字練習や文法、英単語練習等の学習プリントを配付し、基礎的・基本的な学習内容の定着を図っています。次の授業で回収し、定期的に確かめのテストを行い、学習内容の定着を確認しています。

学力の低い生徒にも考慮し、初歩的な段階からステップを踏んで内容を決めるので、学習への意欲化を図り、家庭学習の習慣化に結び付けることができます。

(2) 成果

ほぼ毎日実施しており、誰でも取り組める課題であり、しっかりと学習していれば点数も取れるため、学習への意欲化が図られています。それが授業への集中力にもつながっています。また、あまり多くの時間がかからず、家庭での学習として取り組みやすいため、家庭学習の習慣化にもつながっています。

外まちがえたもの
$$\frac{2x+5y}{3} + \frac{x-3y}{2}$$
$$= \frac{4x+10y}{6} + \frac{3x-9y}{6}$$
$$= \frac{7x+y}{6}$$

授業中の問題や家庭学習で間違った問題をもう一度やり直しています。

$y = -2x + 5$ で x が $-2 \leq x \leq 4$ の y に
 $y = 4 + 5 = 9 \quad -3 \leq x \leq 9$
 $y = -8 + 5 = -3$

例 自主勉ノート

数学 自己評価表 7月 2日
1年 組 []

評価① 持ち物は ()
教科書 授業ノート 自習ノート
○ フル ママズル 梱紙道具
(7点) — フル = 忘れ物の数

評価② 宿題は ()
でまだ ○ 途中までできた ○ しなかった

評価③ ノートは ()
しっかり書けた ○ 少々書き込み
とこども ○ 色ども

コメントを記入したり、疑問や質問に回答したりしながら、学習意欲の向上に努めています。

評価④ 授業態度は ()
私語やふざ見を全くしなかった ○ 私語 少し

評価⑤ 発表(手話や英語)は ()
さすがに○ さすがに△ さすがに△

評価⑥ 学習内容 ()
全問題できました ○ ほとんどできました ○

合計点 42 点 質点 479 点

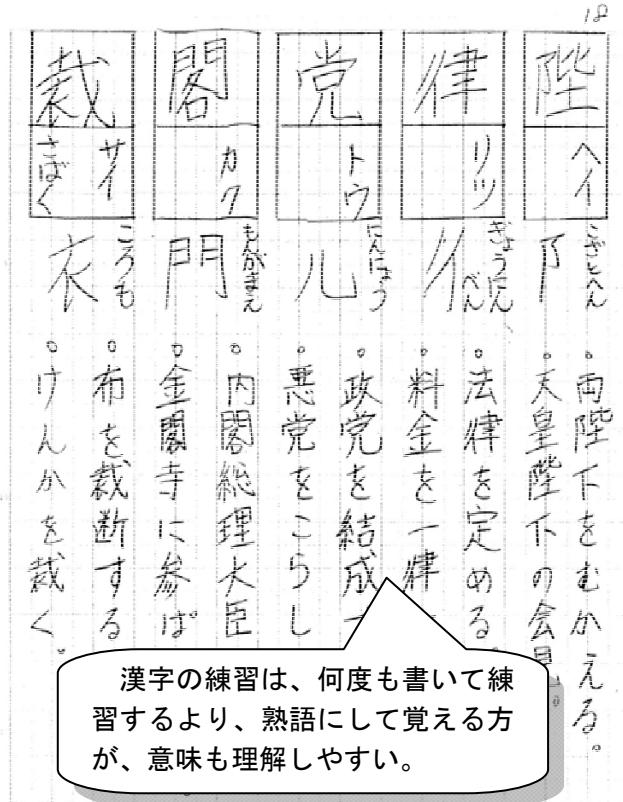
今日の授業を終えて(分かったこと、聞きたいこと、感想など)
今日は文部省版の式を文字通りやりました。P63の問題と問題2()問題1()問題3()問題4()問題5()問題6()問題7()問題8()問題9()問題10()問題11()問題12()問題13()問題14()問題15()問題16()問題17()問題18()問題19()問題20()問題21()問題22()問題23()問題24()問題25()問題26()問題27()問題28()問題29()問題30()問題31()問題32()問題33()問題34()問題35()問題36()問題37()問題38()問題39()問題40()問題41()問題42()問題43()問題44()問題45()問題46()問題47()問題48()問題49()問題50()問題51()問題52()問題53()問題54()問題55()問題56()問題57()問題58()問題59()問題60()問題61()問題62()問題63()問題64()問題65()問題66()問題67()問題68()問題69()問題70()問題71()問題72()問題73()問題74()問題75()問題76()問題77()問題78()問題79()問題80()問題81()問題82()問題83()問題84()問題85()問題86()問題87()問題88()問題89()問題90()問題91()問題92()問題93()問題94()問題95()問題96()問題97()問題98()問題99()問題100()問題101()問題102()問題103()問題104()問題105()問題106()問題107()問題108()問題109()問題110()問題111()問題112()問題113()問題114()問題115()問題116()問題117()問題118()問題119()問題120()問題121()問題122()問題123()問題124()問題125()問題126()問題127()問題128()問題129()問題130()問題131()問題132()問題133()問題134()問題135()問題136()問題137()問題138()問題139()問題140()問題141()問題142()問題143()問題144()問題145()問題146()問題147()問題148()問題149()問題150()問題151()問題152()問題153()問題154()問題155()問題156()問題157()問題158()問題159()問題160()問題161()問題162()問題163()問題164()問題165()問題166()問題167()問題168()問題169()問題170()問題171()問題172()問題173()問題174()問題175()問題176()問題177()問題178()問題179()問題180()問題181()問題182()問題183()問題184()問題185()問題186()問題187()問題188()問題189()問題190()問題191()問題192()問題193()問題194()問題195()問題196()問題197()問題198()問題199()問題200()問題201()問題202()問題203()問題204()問題205()問題206()問題207()問題208()問題209()問題210()問題211()問題212()問題213()問題214()問題215()問題216()問題217()問題218()問題219()問題220()問題221()問題222()問題223()問題224()問題225()問題226()問題227()問題228()問題229()問題230()問題231()問題232()問題233()問題234()問題235()問題236()問題237()問題238()問題239()問題240()問題241()問題242()問題243()問題244()問題245()問題246()問題247()問題248()問題249()問題250()問題251()問題252()問題253()問題254()問題255()問題256()問題257()問題258()問題259()問題260()問題261()問題262()問題263()問題264()問題265()問題266()問題267()問題268()問題269()問題270()問題271()問題272()問題273()問題274()問題275()問題276()問題277()問題278()問題279()問題280()問題281()問題282()問題283()問題284()問題285()問題286()問題287()問題288()問題289()問題290()問題291()問題292()問題293()問題294()問題295()問題296()問題297()問題298()問題299()問題300()問題301()問題302()問題303()問題304()問題305()問題306()問題307()問題308()問題309()問題310()問題311()問題312()問題313()問題314()問題315()問題316()問題317()問題318()問題319()問題320()問題321()問題322()問題323()問題324()問題325()問題326()問題327()問題328()問題329()問題330()問題331()問題332()問題333()問題334()問題335()問題336()問題337()問題338()問題339()問題340()問題341()問題342()問題343()問題344()問題345()問題346()問題347()問題348()問題349()問題350()問題351()問題352()問題353()問題354()問題355()問題356()問題357()問題358()問題359()問題360()問題361()問題362()問題363()問題364()問題365()問題366()問題367()問題368()問題369()問題370()問題371()問題372()問題373()問題374()問題375()問題376()問題377()問題378()問題379()問題380()問題381()問題382()問題383()問題384()問題385()問題386()問題387()問題388()問題389()問題390()問題391()問題392()問題393()問題394()問題395()問題396()問題397()問題398()問題399()問題400()問題401()問題402()問題403()問題404()問題405()問題406()問題407()問題408()問題409()問題410()問題411()問題412()問題413()問題414()問題415()問題416()問題417()問題418()問題419()問題420()問題421()問題422()問題423()問題424()問題425()問題426()問題427()問題428()問題429()問題430()問題431()問題432()問題433()問題434()問題435()問題436()問題437()問題438()問題439()問題440()問題441()問題442()問題443()問題444()問題445()問題446()問題447()問題448()問題449()問題450()問題451()問題452()問題453()問題454()問題455()問題456()問題457()問題458()問題459()問題460()問題461()問題462()問題463()問題464()問題465()問題466()問題467()問題468()問題469()問題470()問題471()問題472()問題473()問題474()問題475()問題476()問題477()問題478()問題479()問題480()問題481()問題482()問題483()問題484()問題485()問題486()問題487()問題488()問題489()問題490()問題491()問題492()問題493()問題494()問題495()問題496()問題497()問題498()問題499()問題500()問題501()問題502()問題503()問題504()問題505()問題506()問題507()問題508()問題509()問題510()問題511()問題512()問題513()問題514()問題515()問題516()問題517()問題518()問題519()問題520()問題521()問題522()問題523()問題524()問題525()問題526()問題527()問題528()問題529()問題530()問題531()問題532()問題533()問題534()問題535()問題536()問題537()問題538()問題539()問題540()問題541()問題542()問題543()問題544()問題545()問題546()問題547()問題548()問題549()問題550()問題551()問題552()問題553()問題554()問題555()問題556()問題557()問題558()問題559()問題560()問題561()問題562()問題563()問題564()問題565()問題566()問題567()問題568()問題569()問題570()問題571()問題572()問題573()問題574()問題575()問題576()問題577()問題578()問題579()問題580()問題581()問題582()問題583()問題584()問題585()問題586()問題587()問題588()問題589()問題590()問題591()問題592()問題593()問題594()問題595()問題596()問題597()問題598()問題599()問題600()問題601()問題602()問題603()問題604()問題605()問題606()問題607()問題608()問題609()問題610()問題611()問題612()問題613()問題614()問題615()問題616()問題617()問題618()問題619()問題620()問題621()問題622()問題623()問題624()問題625()問題626()問題627()問題628()問題629()問題630()問題631()問題632()問題633()問題634()問題635()問題636()問題637()問題638()問題639()問題640()問題641()問題642()問題643()問題644()問題645()問題646()問題647()問題648()問題649()問題650()問題651()問題652()問題653()問題654()問題655()問題656()問題657()問題658()問題659()問題660()問題661()問題662()問題663()問題664()問題665()問題666()問題667()問題668()問題669()問題670()問題671()問題672()問題673()問題674()問題675()問題676()問題677()問題678()問題679()問題680()問題681()問題682()問題683()問題684()問題685()問題686()問題687()問題688()問題689()問題690()問題691()問題692()問題693()問題694()問題695()問題696()問題697()問題698()問題699()問題700()問題701()問題702()問題703()問題704()問題705()問題706()問題707()問題708()問題709()問題710()問題711()問題712()問題713()問題714()問題715()問題716()問題717()問題718()問題719()問題720()問題721()問題722()問題723()問題724()問題725()問題726()問題727()問題728()問題729()問題730()問題731()問題732()問題733()問題734()問題735()問題736()問題737()問題738()問題739()問題740()問題741()問題742()問題743()問題744()問題745()問題746()問題747()問題748()問題749()問題750()問題751()問題752()問題753()問題754()問題755()問題756()問題757()問題758()問題759()問題760()問題761()問題762()問題763()問題764()問題765()問題766()問題767()問題768()問題769()問題770()問題771()問題772()問題773()問題774()問題775()問題776()問題777()問題778()問題779()問題780()問題781()問題782()問題783()問題784()問題785()問題786()問題787()問題788()問題789()問題790()問題791()問題792()問題793()問題794()問題795()問題796()問題797()問題798()問題799()問題800()問題801()問題802()問題803()問題804()問題805()問題806()問題807()問題808()問題809()問題810()問題811()問題812()問題813()問題814()問題815()問題816()問題817()問題818()問題819()問題820()問題821()問題822()問題823()問題824()問題825()問題826()問題827()問題828()問題829()問題830()問題831()問題832()問題833()問題834()問題835()問題836()問題837()問題838()問題839()問題840()問題841()問題842()問題843()問題844()問題845()問題846()問題847()問題848()問題849()問題850()問題851()問題852()問題853()問題854()問題855()問題856()問題857()問題858()問題859()問題860()問題861()問題862()問題863()問題864()問題865()問題866()問題867()問題868()問題869()問題870()問題871()問題872()問題873()問題874()問題875()問題876()問題877()問題878()問題879()問題880()問題881()問題882()問題883()問題884()問題885()問題886()問題887()問題888()問題889()問題890()問題891()問題892()問題893()問題894()問題895()問題896()問題897()問題898()問題899()問題900()問題901()問題902()問題903()問題904()問題905()問題906()問題907()問題908()問題909()問題910()問題911()問題912()問題913()問題914()問題915()問題916()問題917()問題918()問題919()問題920()問題921()問題922()問題923()問題924()問題925()問題926()問題927()問題928()問題929()問題930()問題931()問題932()問題933()問題934()問題935()問題936()問題937()問題938()問題939()問題940()問題941()問題942()問題943()問題944()問題945()問題946()問題947()問題948()問題949()問題950()問題951()問題952()問題953()問題954()問題955()問題956()問題957()問題958()問題959()問題960()問題961()問題962()問題963()問題964()問題965()問題966()問題967()問題968()問題969()問題970()問題971()問題972()問題973()問題974()問題975()問題976()問題977()問題978()問題979()問題980()問題981()問題982()問題983()問題984()問題985()問題986()問題987()問題988()問題989()問題990()問題991()問題992()問題993()問題994()問題995()問題996()問題997()問題998()問題999()問題1000()問題1001()問題1002()問題1003()問題1004()問題1005()問題1006()問題1007()問題1008()問題1009()問題1010()問題1011()問題1012()問題1013()問題1014()問題1015()問題1016()問題1017()問題1018()問題1019()問題1020()問題1021()問題1022()問題1023()問題1024()問題1025()問題1026()問題1027()問題1028()問題1029()問題1030()問題1031()問題1032()問題1033()問題1034()問題1035()問題1036()問題1037()問題1038()問題1039()問題1040()問題1041()問題1042()問題1043()問題1044()問題1045()問題1046()問題1047()問題1048()問題1049()問題1050()問題1051()問題1052()問題1053()問題1054()問題1055()問題1056()問題1057()問題1058()問題1059()問題1060()問題1061()問題1062()問題1063()問題1064()問題1065()問題1066()問題1067()問題1068()問題1069()問題1070()問題1071()問題1072()問題1073()問題1074()問題1075()問題1076()問題1077()問題1078()問題1079()問題1080()問題1081()問題1082()問題1083()問題1084()問題1085()問題1086()問題1087()問題1088()問題1089()問題1090()問題1091()問題1092()問題1093()問題1094()問題1095()問題1096()問題1097()問題1098()問題1099()問題1100()問題1101()問題1102()問題1103()問題1104()問題1105()問題1106()問題1107()問題1108()問題1109()問題1110()問題1111()問題1112()問題1113()問題1114()問題1115()問題1116()問題1117()問題1118()問題1119()問題1120()問題1121()問題1122()問題1123()問題1124()問題1125()問題1126()問題1127()問題1128()問題1129()問題1130()問題1131()問題1132()問題1133()問題1134()問題1135()問題1136()問題1137()問題1138()問題1139()問題1140()問題1141()問題1142()問題1143()問題1144()問題1145()問題1146()問題1147()問題1148()問題1149()問題1150()問題1151()問題1152()問題1153()問題1154()問題1155()問題1156()問題1157()問題1158()問題1159()問題1160()問題1161()問題1162()問題1163()問題1164()問題1165()問題1166()問題1167()問題1168()問題1169()問題1170()問題1171()問題1172()問題1173()問題1174()問題1175()問題1176()問題1177()問題1178()問題1179()問題1180()問題1181()問題1182()問題1183()問題1184()問題1185()問題1186()問題1187()問題1188()問題1189()問題1190()問題1191()問題1192()問題1193()問題1194()問題1195()問題1196()問題1197()問題1198()問題1199()問題1200()問題1201()問題1202()問題1203()問題1204()問題1205()問題1206()問題1207()問題1208()問題1209()問題1210()問題1211()問題1212()問題1213()問題1214()問題1215()問題1216()問題1217()問題1218()問題1219()問題1220()問題1221()問題1222()問題1223()問題1224()問題1225()問題1226()問題1227()問題1228()問題1229()問題1230()問題1231()問題1232()問題1233()問題1234()問題1235()問題1236()問題1237()問題1238()問題1239()問題1240()問題1241()問題1242()問題1243()問題1244()問題1245()問題1246()問題1247()問題1248()問題1249()問題1250()問題1251()問題1252()問題1253()問題1254()問題1255()問題1256()問題1257()問題1258()問題1259()問題1260()問題1261()問題1262()問題1263()問題1264()問題1265()問題1266()問題1267()問題1268()問題1269()問題1270()問題1271()問題1272()問題1273()問題1274()問題1275()問題1276()問題1277()問題1278()問題1279()問題1280()問題1281()問題1282()問題1283()問題1284()問題1285()問題1286()問題1287()問題1288()問題1289()問題1290()問題1291()問題1292()問題1293()問題1294()問題1295()問題1296()問題1297()問題1298()問題1299()問題1300()問題1301()問題1302()問題1303()問題1304()問題1305()問題1306()問題1307()問題1308()問題1309()問題1310()問題1311()問題1312()問題1313()問題1314()問題1315()問題1316()問題1317()問題1318()問題1319()問題1320()問題1321()問題1322()問題1323()問題1324()問題1325()問題1326()問題1327()問題1328()問題1329()問題1330()問題1331()問題1332()問題1333()問題1334()問題1335()問題1336()問題1337()問題1338()問題1339()問題1340()問題1341()問題1342()問題1343()問題1344()問題1345()問題1346()問題1347()問題1348()問題1349()問題1350()問題1351()問題1352()問題1353()問題1354()問題1355()問題1356()問題1357()問題1358()問題1359()問題1360()問題1361()問題1362()問題1363()問題1364()問題1365()問題1366()問題1367()問題1368()問題1369()問題1370()問題1371()問題1372()問題1373()問題1374()問題1375()問題1376()問題1377()問題1378()問題1379()問題1380()問題1381()問題1382()問題1383()問題1384()問題1385()問題1386()問題1387()問題1388()問題1389()問題1390()問題1391()問題1392()問題1393()問題1394()問題1395()問題1396()問題1397()問題1398()問題1399()問題1400()問題1401()問題1402()問題1403()問題1404()問題1405()問題1406()問題1407()問題1408()問題1409()問題1410()問題1411()問題1412()問題1413()問題1414()問題1415()問題1416()問題1417()問題1418()問題1419()問題1420()問題1421()問題1422()問題1423()問題1424()問題1425()問題1426()問題1427()問題1428()問題1429()問題1430()問題1431()問題1432()問題1433()問題1434()問題1435()問題1436()問題1437()問題1438()問題1439()問題1440()問題1441()問題1442()問題1443()問題1444()問題1445()問題1446()問題1447()問題1448()問題1449()問題1450()問題1451()問題1452()

自主学習ノート例

A. 基礎学力につける「読む」「書く」「計算する」自主学習ノート例

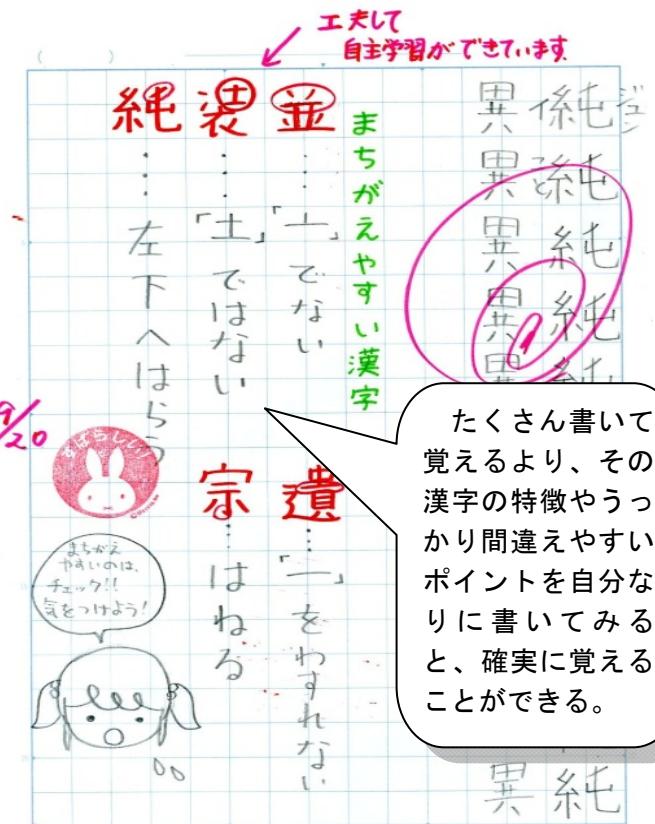
〈国語〉

○漢字と熟語の練習



漢字の練習は、何度も書いて練習するより、熟語にして覚える方が、意味も理解しやすい。

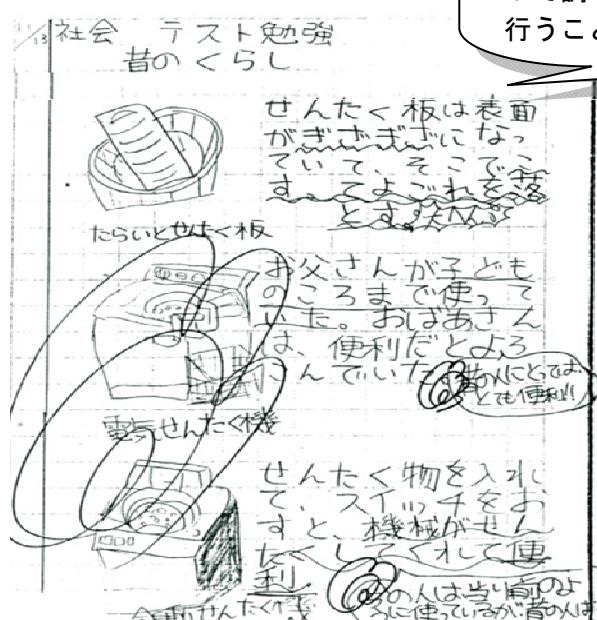
○漢字要点チェック



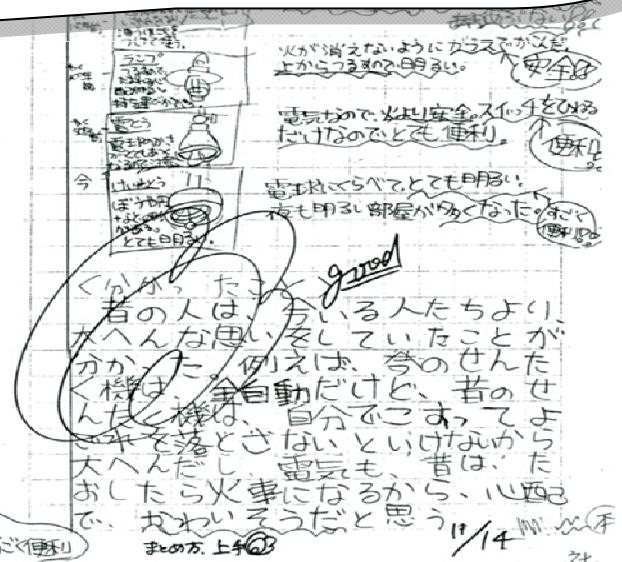
たくさん書いて覚えるより、その漢字の特徴やうつかり間違えやすいポイントを自分なりに書いてみると、確実に覚えることができる。

〈社会〉

○学習のまとめ（テスト勉強、復習）



「昔の暮らし」で学習したことをノートにまとめていく。イラストがあって分かりやすい。道具の特徴と自分のコメントや感想も入れている。家族にも協力してもらって調べていることが分かる。家族を巻き込んで自学を行って興味・関心が一層高まる。



<算数>

○答えが決まっている計算練習

52 こたえが50になるものだい。十人ひきさん

$$\begin{array}{l} \text{① } 30 + 20 = 50 \\ \text{② } 40 + 10 = 50 \\ \text{③ } 50 + 0 = 50 \\ \text{④ } 60 - 10 = 50 \\ \text{⑤ } 80 - 30 = 50 \\ \text{⑥ } 70 - 40 = 50 \\ \text{⑦ } 100 - 50 = 50 \\ \text{⑧ } 61 - 1 = 50 \\ \text{⑨ } 70 - 20 = 50 \\ \text{⑩ } 50 - 0 = 50 \\ \text{⑪ } 99 - 44 = 50 \\ \text{⑫ } 59 - 9 = 50 \\ \text{⑬ } 89 - 24 = 50 \end{array}$$

既習の計算力を生かして、多様な計算ができる。答えが決まっていることで、いくつもの組み合わせを考える力にもなる。

○計算ドリルを使った復習

$$\begin{array}{ll} 80 \div 4 = 20 & 400 \div 8 = 50 \\ 600 \div 2 = 300 & 4900 \div 7 = 700 \\ 3000 \div 6 = 500 & \\ 360 \div 9 = 40 & \\ \begin{array}{c} 26 \\ 3) 78 \\ \underline{-6} \\ 18 \\ \underline{-18} \\ 0 \end{array} & \begin{array}{c} 10 \\ 8) 80 \\ \underline{-64} \\ 16 \\ \underline{-16} \\ 0 \end{array} \quad \begin{array}{c} 108 \\ 5) 420 \\ \underline{-25} \\ 170 \\ \underline{-15} \\ 20 \\ \underline{-15} \\ 5 \end{array} \\ \begin{array}{c} 94 \\ 4) 379 \\ \underline{-36} \\ 19 \\ \underline{-16} \\ 3 \end{array} & \begin{array}{c} 0 \\ 6) 62 \\ \underline{-6} \\ 2 \end{array} \quad \begin{array}{c} 8 \\ 6) 48 \\ \underline{-48} \\ 0 \end{array} \end{array}$$

計算練習は、間を開けて見やすくし、最後に振り返りを書いている。余白を作ることで、間違いが分かりやすくなる。振り返りには次への目当てが書いてある。向上心をもって取り組んでいるよい例である。

○復習（自分なりにまとめてみる）

今日の復習 > 算数 < 比例 >

反比例

縦走の長さ x (cm)	1	2	3	4	5	6
横の長さ y (cm)	18	9	6	4.5	3	2

\downarrow \downarrow \downarrow

縦走の長さ x の値が2倍になると、横の長さ y の値は半分になります。

横の長さ y の値が2倍になると、縦走の長さ x の値は半分になります。

⑦ 4倍
⑧ 3倍
⑨ 2倍

x との式 $y = 18 \div x$

まとめ

やがて x に反比例すると y の値が $\frac{1}{2}$ 倍、 $\frac{1}{3}$ 倍…になると、それがいつからいつまでその値が2倍、3倍…になります。

授業の復習をノートに書き、自分で今日のポイントを入れたり、まとめを囲んで分かりやすくしたりしている。

10/2(月)

2けたの数でわる筆算 14 Fight!

$$\begin{array}{r} ① 6 \\ ② 2) 222 \\ \underline{-12} \\ 102 \\ \underline{-102} \\ 0 \end{array} \quad \begin{array}{r} ③ 8 \\ ④ 1) 364 \\ \underline{-3} \\ 64 \\ \underline{-64} \\ 0 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} ⑤ 7 \\ ⑥ 4) 489 \\ \underline{-4} \\ 89 \\ \underline{-4} \\ 49 \\ \underline{-4} \\ 9 \end{array} \quad \begin{array}{r} ⑦ 16 \\ ⑧ 5) 353 \\ \underline{-35} \\ 0 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} ⑨ 7 \\ ⑩ 3) 180 \\ \underline{-15} \\ 30 \\ \underline{-30} \\ 0 \end{array} \quad \begin{array}{r} ⑪ 8 \\ ⑫ 8) 715 \\ \underline{-64} \\ 75 \\ \underline{-72} \\ 3 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} ⑬ 6 \\ ⑭ 2) 171 \\ \underline{-14} \\ 31 \\ \underline{-30} \\ 1 \end{array} \quad \begin{array}{r} ⑮ 805 \\ ⑯ 1) 48 \\ \underline{-4} \\ 8 \\ \underline{-8} \\ 0 \end{array}$$

⑬ もと早く書けるようにがんばりたいです。

<理科>

○学習のまとめ

9/27 理科 食べ物でのかかわり

食べられる → 食べる

食べたり食べられたり「あそぶ」のようになっている。

植物 → 植物を食べる動物 → 動物を食べる動物

野山 → うさぎ → 鳥

学習した時間が記入されているので、取り組みの様子が分かる。

食べたり食べられたり「あそぶ」のようになっている。

植物 → 植物を食べる動物 → 動物を食べる動物

野山 → うさぎ → 鳥

矢印 (→ や ⇒) を効果的に使用し、箇条書きを使って分かりやすくまとめている。

15(日) (1)いろいろなもののとり方

実験のやり方

水の入ったコップに水を入れる

取り皿2
わらじ
はさむ

食塩を取たり入れる

ひらき
うどん

てこ

●でやモトには食塩を入れると現
れしきらぐると見えなくなりた。
このとて紙のカップの中の食塩は
なくなつた。

●で水はとつ明である。

●ものか全体がかかる
●時間かかるてもとくもの
水が分かれない
状態をとるといつ。

次は紙パックが近くはたので水によく混ぜとくるか
どうか実験しよう

おほえむ メスリンダーの使い方

●決、た量の水は重さではなく、体積でよが
じることもできる。

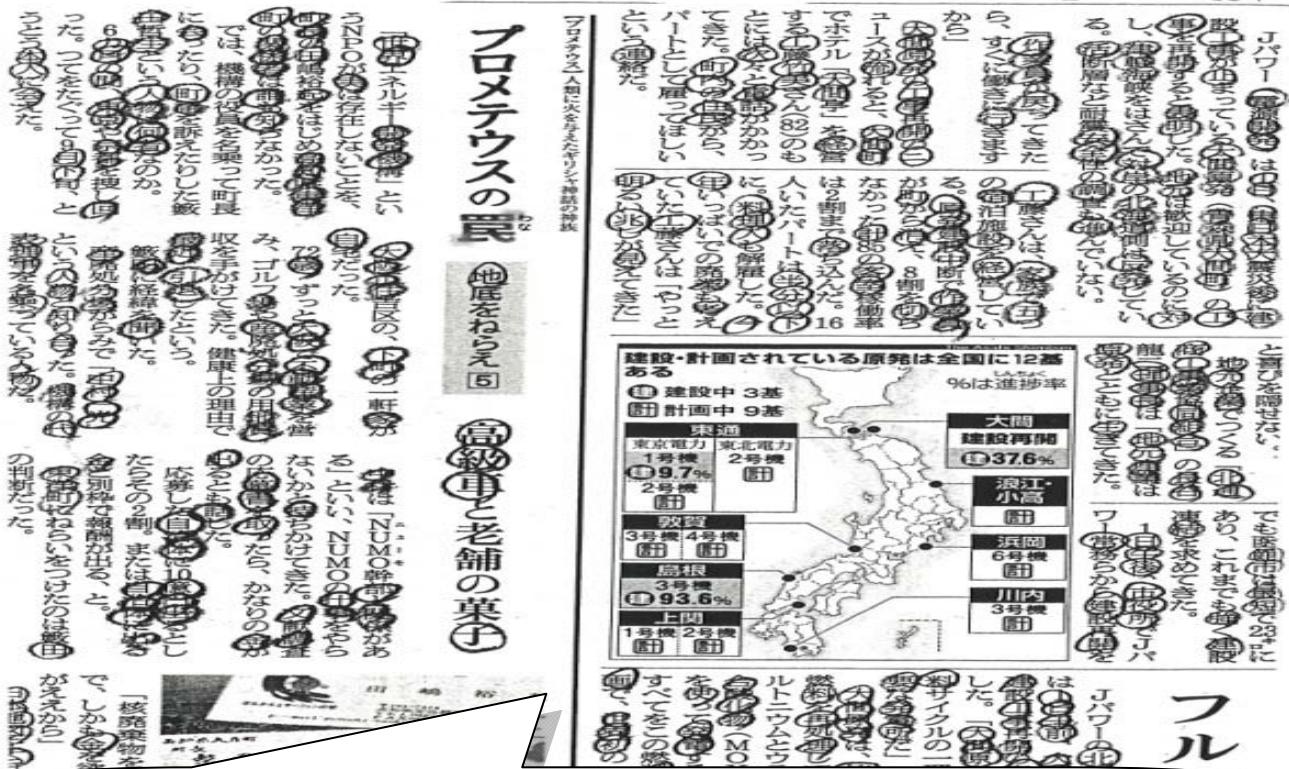
●メスリンダーを使うと液体の体積を正確に

実験のやり方が詳し
く図解されている。
実験の様子を具体的に
書いている。

実験によって分か
ったことを、コメント
入りできれいにまと
めている。

B. 思考力や表現力を伸ばす探究的な内容（発展学習）自主学習ノート例

○新聞の記事で習った漢字さがし



既習の漢字を探しながら、知らないうちに新聞に興味をもつことができる。分からなかった言葉を辞書で調べたり、読んだ自分の感想を書いたりしておくとさらに学習が深まる。

○お手伝い日記

7/25

「お手伝いしたよ。」

お手伝いの様子を、写真入りで日記風にまとめている。お手伝いに取り組んでみた感想やお家の人の言葉が添えられていて、意欲が高まる内容になっている。



はじめてさあやらいをしました。
さあをあらうのはかんたんだったた
けど、石けんをあらいいなかつか
大へんでした。でも楽しかった
まだやりたいです。
夏休み初日から新しい事に手
レンジしてくれて嬉しかったです。

おつかれ、おつかれまさりまよ!!

7/30
「お手伝いしたよパート2」

「お手伝いしたよパート2」と題して、連続で取り組んでいることが分かる。テーマを決めて続けることで、新たな発見がある。お家の人の協力ありがとうございます。



すい!!
お手伝い名人
ですかね。!!

巧ベヤ
に物せり理やそじをすら
きりしました。こだんしない場所
もレフカリ出来ました。こわれ
モブケでいいきたいなと思
母>自分からう自分荷物の片付
全部屋に掃除機をかけない所
やれば普段出来
本当に助かりました。夏休み最高へ!!